

小学校における 映像教材 デモンストレーション

南丹市立胡麻郷小学校 浜田 栄真

学習デジタル教材コンクール

文部科学大臣賞 受賞

おめでとう

ございます



今日のお話

- 1 自己紹介
- 2 映像教材デモンストレーション
- 3 終わりに

1 自己紹介

- ・ 南丹市立胡麻郷小学校で採用
- ・ 主に南丹市、京丹波町で勤務
- ・ 平成 17 年度、京都教育大学特別支援教育特別専攻科で 1 年間特別支援教育について学ぶ
- ・ 平成 18 年度、通級指導教室担当になる
- ・ 平成 30 年度南丹市教育委員会で勤務
主に特別支援を担当し「心のバリアフリー推進事業」にてイベントを開催
- ・ 令和元年 11 月「心のバリアフリー交流会」のイベントでoioiさんを招聘
以後、oioi手話講座をきっかけに手話をちびちびと勉強中
- ・ 令和 6 年度より、**胡麻郷小学校**で勤務現在通級指導教室を担当（隣の殿田小学校において週 2 回、巡回指導）

2 映像教材デモンストレーション

1 令和7年3月13日

2校時（45分） 胡麻郷小 5年生（22名）

6校時（45分） 殿田小3, 4年生（18名） で実施

※福祉について、2学期に学習済み

2 ねらい

難聴者の困り事を想像し、解決策を見つけることができる。

2 映像教材デモンストレーション

1 導入（10分）

2 展開 『授業編』（25分）

（1）映像を見て困りごとを想像する。

（2）「どうすれば困り事が起こらないようにできるか」
話し合う。

3 まとめ（10分）

2 映像教材デモンストレーション

1 導入（10分）

- ・ 指導者のひとり寸劇

無音の環境を体験

- ・ 「難聴者の聞こえ方なんなん」 視聴
伝音難聴と感音難聴

- ・ 声が聞こえない。
- ・ 口の動きが分からない。
- ・ ジェスチャーは分かるけど。
- ・ 風邪をひいて、声が出ない・・・あるなあ。

2 映像教材デモンストレーション

2 展開 『授業編』 (25分)

(1) 映像を見て困りごとを想像する。

- ①「先生が話している」
- ②「友達が話している」
- ③「音読している」

個別：メモを取る、発表する

2 映像教材デモンストレーション

2 展開 『授業編』

(1) 映像を見て困りごとを想像する。

1つの映像につき

考える時間：20秒

考える時間が短い？
効果音の影響は？

「思いつくことをたくさん見つけよう」

2 映像教材デモンストレーション

(1) 映像を見て困りごとを想像する。

ワークシートに書かれているヒントでも気づく児童がいた。

個別作業の段階で、既に解決策まで書いている児童がいた。

時間が限られているので、集中して考えられた。

2 映像教材デモンストレーション

2 展開 『授業編』

(2) 「どうすれば困り事が起こらない
ようにできるか」話し合う。

グループ (3~4人) : 話し合う、発表する

2 映像教材デモンストレーション

(1) 映像を見て困りごとを想像する。

<児童の反応>

- ①「先生が話している」について
 - ・ 先生が動いていて、口元が隠れて見えない。
 - ・ 重要な言葉などの板書がない。
 - ・ 周りの人がうるさいと聞こえない。
 - ・ 教科書で口元が隠れている。
 - ・ 他の音と混ざって聞こえにくい。

2 映像教材デモンストレーション

(2) 「どうすれば困り事が起こらないようにできるか」話し合う。

＜児童の反応＞

① 「先生が話している」について

- ・ 黒板（TV）を使って授業をしてほしい。
- ・ 教科書を下ろして、口元が見えるようにしたらいい。
- ・ みんなの方を見てはきはき話す。
- ・ 前の席にする。（真ん中でもいい？）
- ・ 周りが静かにする。
- ・ 他の（手話ができる）先生をつける。

2 映像教材デモンストレーション

(1) 映像を見て困りごとを想像する。

<児童の反応>

②「友達が話している」について

- ・ **みんなが同時に話していて**、声が聞こえにくくなっていたり、遠くの友達の声が聞き取りづらい。
- ・ **どこから話してるかわからない。**
- ・ **たくさんの雑音**で聞こえない。
- ・ 声が小さくて、**聞こえないと話に入れない。**

2 映像教材デモンストレーション

(2) 「どうすれば困り事が起こらないようにできるか」話し合う。

＜児童の反応＞

② 「友達が話している」について

- ・聞こえやすいよう、周りが静かにする。
- ・手を挙げてからしゃべる。
- ・ジェスチャーを使う。
- ・誰が話しているかはっきりさせる。
- ・一人ずつゆっくり順番にしゃべる。
- ・友達に教えてもらう。肩をたたく。

2 映像教材デモンストレーション

(1) 映像を見て困りごとを想像する。

<児童の反応>

③「音読している」について

- ・教科書で口元が見えないから、**今どこを読んでいるのかが分からない。**前の席の人も、見えない。
- ・**自分の番がいつ来るのか、分からない。**
- ・どこまで読むのかが分からない。
- ・**見るのに必死で、勉強どころではない。**

2 映像教材デモンストレーション

(2) 「どうすれば困り事が起こらないようにできるか」話し合う。

＜児童の反応＞

③ 「音読している」について

- ・ 読む順番を最初にしてもらう。いつ読むのか決める。
- ・ 立って難聴者の方を向く。
- ・ 読む人が手を挙げる。
- ・ 円になって音読する。
- ・ 電子黒板で読んでいるところを示す。
- ・ 先生が教える。指で追ってもらう。

2 映像教材デモンストレーション

3 まとめ (10分)

- ・ まとめの話
- ・ 感想記入

2 映像教材デモンストレーション まとめ

<児童の感想 1>

- ・想像以上に困ることが多いんだな。
- ・その人の方を見て話したり、誰がしゃべっているのかをはっきりさせたりしたい。
- ・何に困っているかを想像したい。難聴者の気持ちと考えられる人になりたい。

2 映像教材デモンストレーション

まとめ

<児童の感想 2>

- ・ 耳が聞こえない人や目が見えない人、体の不自由な人も幸せに暮らせるような社会があればいい。自分もできることを少しでもしたい。
- ・ 私たちにできる工夫がたくさんあると知ることができた。

3 終わりに



ご清聴
ありがとう
ございました